

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～9月30日までに入手できたもの)

No.	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
1	20070327	女性	8	不明 ただし、タミフル未服用	走り回る	平成16年11月12日、40度の発熱。 わけのわからないことを叫びながらリビングを走り回る。本人記憶なし。 翌日受診し、B型インフルエンザと診断される。	医療機関 からの報告
2	20070403	男性	9		異常行動	本年3月末。インフルエンザA型と判明。体が浮くような感じがしてベランダに登りかけたところを家族が制止。	医療機関 からの報告
3	20070402	男性	10	不明 ただし、タミフル未服用	転落	平成11年1月16日、朝から約40度の発熱で、近医受診し、インフルエンザA型と診断。 夕方、2階の窓から外へ転落。本人は窓の外に父がいると思いこんだとのこと。脳波正常範囲。インフルエンザに伴う意識障害による異常行動。	医療機関 からの報告
4	20070406	男性	10	アモキシシリン水和物 チペピジンヒベンズ酸塩 L-カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と判明。翌日夜39.9℃の発熱。急に起き上がり部屋から出て、他の部屋へ出入りする。焦点は定まらず。意思の疎通できず夜中に3度座り込み、笑い出す。朝、本人は昨晚のことがほとんど記憶にない。	医療機関 からの報告
5	20070424	男性	10		異常行動	部屋の中を走り回る。本人の記憶あり。 その後、インフルエンザ感染症と診断し、リン酸オセルタミビル処方するも、処方後に異常行動の発現はなかった。	医療機関 からの報告
6		男性	10歳代	イブプロフェン リン酸ベンプロペリン カルボシステイン インドメタシン ロラタジン	外に出ようとした	本年3月25日、高熱、咽頭痛、鼻水、咳あり。 翌日受診し、B型インフルエンザと診断。 翌々日、高熱にて解熱鎮痛剤の坐薬使用の2時間後、「追いつめられる」と叫び外へ出て行こうとした。	医療機関 からの報告
7	20070327	男性	11		家から外に出た	本年3月1日、発熱。 「土が崩れる、天井から砂が降る」など言いながら、家の外へ出て、道路に寝ていた。 家族が連れ戻したが、覚えていない。 翌日受診し、B型インフルエンザと診断される。	医療機関 からの報告

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～9月30日までに入手できたもの)

No.	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
8	20070328	男性	11	葛根湯 アセトアミノフェン アンピシリンナトリウム・ス ルバクタムナトリウム	異常行動	本年3月22日、B型インフルエンザの治療開始。 翌日に異常行動。今回はタミフルを服用していない。タミフルは過去に2回服用歴があるが、異常行動は認めていない。 (なお、担当医に事情を聞いたところ、異常行動としては、夜に飛び起きて走り回ったとの由。本人は記憶ないとの由)。	医療機関 からの報告
9	20070403	男性	11	ザナミビル水和物	幻覚、異常行動	本年3月22日。インフルエンザB型。1回目の吸入の数時間後、「誰かいる」など幻覚症状出現(体温38.9度)。2回目の吸入後、深夜、幻覚症状増悪。「外を見てくる」と言ってベランダに走って行った。家族が取り押さえた(体温40度近く)。	医療機関 からの報告
10	20070406	女性	11	ザナミビル水和物	激越 譫妄	ザナミビル水和物処方後、押さえ込まないと暴れたり、大声を出したりする。「死にたい」「窓から落として」などと口走ったり、2階の窓から身を乗り出そうとするので、30分間抑えていた。その後、ザナミビル水和物吸入しても症状の発現はなかった。	医療機関 からの報告
11	20070409	男性	11		異常行動	本年3月5日。夜に妙なことを言う。翌朝5:30から発熱(39.2度)により、受診。臨床的にインフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与したが服用せず。昼頃、おびえだし、観察していたところトイレへ走り便器に顔を突っ込むようなしぐさで「死にたい」などと言っていたので親が制止した。	医療機関 からの報告
12	20070323	男性	12		飛び降り 骨折	本年3月12日、感冒症状で39度の発熱。 翌日、病院受診予定で、2階自室で就寝。「怖い人に追われる夢を見て」翌日深夜、2階から飛び降り、左足関節外踵骨折。	医療機関 からの報告
13	20070330	男性	12	市販の風邪薬	転落 死亡	自宅9階から転落し死亡。3月27日に医療機関搬入。目撃情報なく、転落の詳細不明。死亡確認時の鼻腔粘膜検査にてインフルエンザA型陽性。発熱・上気道症状のため市販風邪薬を飲んだとのことだが、詳細不明。	医療機関 からの報告
14	20070403	男性	12	クラリスロマイシン トラネキサム酸 L-カルボシステイン 耐性乳酸菌 アセトアミノフェン	異常行動	本年3月9日。インフルエンザB型。深夜、トイレに起きて別方向の窓(3階)を開けて出ようとしたため、家人が押さえた。その後別の窓を開け、再び出ようとしたため、家人が取り押さえ事なきを得た。本人はその時の記憶あり。	医療機関 からの報告

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～9月30日までに入手できたもの)

No.	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
15	20070403	女性	12	アセトアミノフェン	異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と診断。夜、2階から降りてきて、道路に出て行こうとするので、家族が必死で制止し、なんとか押さえつけることができた。	医療機関からの報告
16	20070410	男性	13		異常行動 譫妄	以前より誰かに追いかけられるような感覚を伴う怖い夢を見ることあり。 本年3月5日。発熱および感冒症状を認めたが、リン酸オセルタミビルを含む薬物の処方を受けていなかった。翌朝4時過ぎより譫妄による怯え。また、その日の夜は平素と変わらぬ様子で入眠するが、夜中、自宅(3階)より転落し、現場で膝を抱えて座って叫んでいる状態を家人が発見。本人に転落前後の記憶はなかった。	医療機関からの報告
17	20070402	男性	14	塩酸エブラジノン 塩酸アンプロキシソール D-マレイン酸クロルフェニ ラミン アセトアミノフェン セフジニル 塩酸ツロブテロール	異常行動	本年3月7日夜より発熱38.5℃。迅速診断キットによりA型インフルエンザ陽性。本人及び家族の希望によりタミフル処方せず。3月8日夜、39.8℃の発熱あり。突然走りだし、マンションドアより飛び出しエレベータまで行き、父と兄が強制的に抑えた。その後1時間ほど興奮し、その後眠った。翌日より異常なし。3月8日の行動について本人は覚えていない。	医療機関からの報告
18	20070412	男性	14		異常行動 悪夢 睡眠時遊行症	本年3月15日、朝から38℃台の発熱で自宅にて安静していたが、36℃台になり登校。夜0時前に就寝後、夢の中で何かに追いかけれ、それから逃げようと思い飛び降りたら、それが現実だった。本人が気付いたときは自宅の庭であった。翌朝4時に近所の人に発見され、救急車で搬送された。搬送時と病院到着時意識清明。体温39.4℃。インフルエンザB(+)。右第2～4中足骨骨折あり。睡眠脳波、頭部MRI正常。	医療機関からの報告

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～9月30日までに入手できたもの)

No.	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
19	20070530	女性	14	一般用総合感冒薬	熱せん妄	入院2日前から38℃の発熱あり。「頭がボーンとする」と訴えていた。市販の総合感冒薬を内服したが著変なかった。 入院当日夕方、頭痛あり。「頭がおかしい。ベッドから落ちそうな感覚。怖い夢をみてベランダから飛び降りそうになる」などの訴えあり。トイレに行こうとして玄関に出ていってしまい、結局部屋にもどった。一時、ろれつがまわりにくくなった。発熱、異常行動を主訴に夜、救急受診した。受診時、40.6℃。ややボーっとした感じはあるが意思疎通に問題なし。座位、立位不能。「ベッドにじっと寝ていられない感じがする。ベッドから落ちそう」と訴えるが実際は熱くなく冷感あり。夜入院し、輸液とザナミビル1日2回吸入で経過観察となる。 翌日、深夜から早朝にかけて「うるさい」と叫ぶことが数回観察された。これ以降、異常言動・異常感覚はみられなかった。午前中には座位可能となり、この日は37℃台後半であった。 翌々日には解熱した。	医療機関からの報告
20		男性	14	アセトアミノフェン	飛び降り	本年3月19日発熱(38℃前後)し、持続するため翌日来院。少し倦怠感あるが、他に症状無し。インフルエンザB型陽性。症状軽いため解熱剤のみ処方。 翌日朝、2階で寝ている患児がおらず、素足でうろうろと庭を歩いている。飛び降りた瞬間に意識が戻り、ベランダのパイプに手をかけたことは覚えているが、どのように落ちたかは記憶にない。また、部屋で壁に頭をがんがんぶつけたことは記憶している。けがは全くなく、昼には意識清明。その間、薬は解熱剤を含め一切服用していない。	横浜市医師会による公表
21	20070328	男性	15	セフポドキシムプロキセチル アセトアミノフェン 塩化リゾチーム	飛び降り	本年3年7日頃、インフルエンザ疑い。 処方された薬を服用後、2階から飛び降りたとのこと。	医療機関からの報告
22	20070329	男性	15	アセトアミノフェン ジメモルファン カルボシステイン アモキシシリン ベポタステン	家から外に出ようとした	本年3年27日、B型インフルエンザで寝ていた本人が、深夜突然、むくつと起きだし、上着を着て外へ出ようとした。家族が止め、5分ほどで落ち着く。 翌日、本人は覚えていない。	医療機関からの報告

タミフル非使用症例の異常な行動が記載されている事例の概要(年齢順)(平成19年3月23日～9月30日までに入手できたもの)

No.	報告日	性	年齢	併用薬	異常な行動	経過の概要	備考
23	20070621	男性	17	一般用かぜ薬(内用) 一般用解熱鎮痛薬	異常行動	インフルエンザA型。 本年4月22日未明、一般用解熱鎮痛薬服用。本人によると「(うつらうつらして)誰かが2階から飛び降りたので、自分もそれを追って2階から飛び降りた。飛び降りて我に返った。」。 左膝関節痛、腰痛、左頬擦過傷。骨折なし。	医療機関からの報告
24	20070403	女性	78	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 アンブロキシソール塩酸塩 イブプロフェン 降圧剤(詳細不明) 酸化マグネシウム	譫妄、激越	本年3月28日。インフルエンザA型と判明。探し物をしてあちこちの棚を開け、制止し臥床させても起き出して行動を始める。足下はフラフラしており、探し物をする手も少し震えていた。話しかけても理解できない様子。	医療機関からの報告